

平成24年度(第3回)  
「教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項」に関する免許状更新講習一覧

| 開設者名   | 講習の名称                                       | 講習の概要  | 担当講師   | 講習の開催地 | 時間数 | 講習の期間      | 対象職種 | 主な受講対象者        | 受講料    | 受講人数 | 受講者募集期間               |
|--------|---|--|--|--------|-----|------------|------|----------------|--------|------|-----------------------|
| 福岡女子大学 | 境界を超える「ことば」と「文学」                            | 日本の文学及び歴史をめぐる最近の研究動向を踏まえつつ、文学的・歴史的・語学的な諸問題を講じていく。学際的な手法を取り入れることによって、「国語」教材の研究にも有益となる新たな視点を取り込む。  | 今井 明(国際文理学部教授兼文学部教授)<br>渡邊 俊(国際文理学部講師)<br>坂本 浩一(国際文理学部准教授兼文学部准教授)      | 福岡県福岡市 | 6時間 | 平成24年8月2日  | 教諭   | 高等学校及び中学校の国語教諭 | 6,000円 | 30人  | 平成24年4月16日～平成24年6月30日 |
| 福岡女子大学 | 「国語」教材への視点                                  | 教科書に採択されている国語教材については、作品の一部に留まっていることが多い。本講習では、教材をめぐって、新知見からなる読解の方法の提示や日本語教育との対照など、国語教育に関わる問題を示し、新たな教授法を考える一助とする。  | 橋本 直幸(国際文理学部講師兼文学部講師)<br>鈴木 暁世(国際文理学部講師兼文学部講師)<br>矢野 準(国際文理学部教授兼文学部教授) | 福岡県福岡市 | 6時間 | 平成24年8月3日  | 教諭   | 高等学校及び中学校の国語教諭 | 6,000円 | 30人  | 平成24年4月16日～平成24年6月30日 |
| 福岡女子大学 | 「国語」教材の講読Ⅰ                                  | 古典(古文・漢文)に関して、原典を専門的に読み解いていくことにより、「国語」教材に対する読解力と指導力の更なる向上を目指す。基本的にはひとつの作品を丹念に講読していくことによって、活発な意見交換がはかれるようにする。   | 月野 文子(国際文理学部教授兼文学部教授)<br>工藤 重矩(文学部客員教授)                                | 福岡県福岡市 | 6時間 | 平成24年8月4日  | 教諭   | 高等学校及び中学校の国語教諭 | 6,000円 | 30人  | 平成24年4月16日～平成24年6月30日 |
| 福岡女子大学 | 「国語」教材の講読Ⅱ                                  | 古典を中心に、原典を専門的に読み解いていくことにより、「国語」教材に対する読解力と指導力の更なる向上を目指す。基本的にはひとつの作品を丹念に講読していくことによって、活発な意見交換がはかれるようにする。  | 今井 明(国際文理学部教授兼文学部教授)<br>大久保 順子(国際文理学部准教授兼文学部准教授)                       | 福岡県福岡市 | 6時間 | 平成24年8月5日  | 教諭   | 高等学校及び中学校の国語教諭 | 6,000円 | 30人  | 平成24年4月16日～平成24年6月30日 |
| 福岡女子大学 | 環境問題をわかりやすく多面的に捉える<br>(1)地球環境問題を考える         | 「地球温暖化」に対する有効で重要な対策である「自然エネルギー」の特徴(長所と短所)を理解し、課題を明らかにすると同時に、持続可能な社会の構築には、どのように「自然エネルギー」の活用を図っていくべきかを考えていきます。身近な「環境問題」としては、「紙おむつ」の中身や関連の環境問題について、紙おむつを解体し、どのような工夫が施されているかを体験するなどして、わかりやすく学びます。  | 吉村 利夫(国際文理学部教授兼人間環境学部教授)<br>藤岡 祐一(国際文理学部教授兼人間環境学部教授)                   | 福岡県福岡市 | 6時間 | 平成24年8月9日  | 教諭   | 高等学校及び中学校の理科教諭 | 6,000円 | 30人  | 平成24年4月16日～平成24年6月30日 |
| 福岡女子大学 | 環境問題をわかりやすく多面的に捉える<br>(2)循環型社会におけるごみ処理・3R・水 | 「3R活動」や「循環型社会」への転換の必要性を理解するため、(1)「ごみ処理」の歴史や廃棄物の現状、(2)循環型社会基本計画や容器包装、家電製品、自動車等の各種個別「リサイクル制度」、(3)経済社会における資源性物質と有害性物質の流れ(ライフサイクル)について概説します。また、水道水の水質や臭いが気になったことはありませんか。循環資源の一つである水道水について制度や新しい技術、取組みを学び、水道水の臭気を誰でも簡単に、楽しく、客観的に測定する方法を実際に実習で体験します。 | 野馬 幸生(国際文理学部教授)<br>柳橋 泰生(国際文理学部教授)                                     | 福岡県福岡市 | 6時間 | 平成24年8月10日 | 教諭   | 高等学校及び中学校の理科教諭 | 6,000円 | 30人  | 平成24年4月16日～平成24年6月30日 |
| 福岡女子大学 | 環境問題をわかりやすく多面的に捉える<br>(3)安全で快適な生活環境の構築      | 私たちの生活は様々な「リスク」に満ちています。一見安全と見える「家庭」内であっても様々なリスクが潜んでおり、事故がおきます。特に高齢社会となった今日、そのリスクは高まっていると考えられます。また、家庭を取り巻く「社会」もまた、事故や疾病、さらに経済問題などの、健康で快適な生活を損なうリスクを抱えています。この講義では、そうした様々なリスクについての解説と、リスクの数学的な把握、実際の対処法を講義します。                                    | 錦谷 まりこ(国際文理学部准教授)<br>大中 忠勝(国際文理学部教授兼人間環境学部教授)                          | 福岡県福岡市 | 6時間 | 平成24年8月11日 | 教諭   | 高等学校及び中学校の理科教諭 | 6,000円 | 30人  | 平成24年4月16日～平成24年6月30日 |